

## 【考察】

### 1 保護者アンケートについて

今年度の設問は昨年度と同じものでしたので、比較をしてみました。

昨年は、「A」と「B」を合わせた肯定的評価の割合が、すべての項目に対して90%を超える高い評価をいただきましたが、本年度はQ7、Q20、Q28で80%台に落ちてしまいました。

いただいたご意見を見ると、多くの温かい励ましのお言葉をいただきましたが、併せて改善についてのご要望もいただきました。

Q7に関連して「外遊びを増やしてほしい」という意見が多く見受けられました。現在の1日のカリキュラムの中に外遊びを増やす余地があるか検討しています。

Q20、28は園へ信頼度が高くない方が一定数存在することを示しています。その原因がどこにあるかを他の評価項目や、他の行事アンケートとの関連で分析しましたが、結論には至りませんでした。

「園だより特別号」には「お気づきの点がありましたら、遠慮なくお申し出ください」と書きましたが、まずは、基本となる「挨拶」「笑顔」を職員で徹底していくと考えています。

### 2 職員アンケートについて

職員アンケートは保護者アンケートと合わせて2年目となります。職員の場合は分母が小さいので、1人の評価が全体に及ぼす影響が大きく、+10%以上のものを見ます。まず、昨年との比較では給食に関する項目が上がっているのが目立ちます。続いて保護者との比較では、「保護者にとって親しみやすい環境をつくっている。」「保護者の意見や相談を聞きやすい体制を取っている。」の2点で保護者との乖離が見られました。前項にあるように職員一同、まずは「挨拶」「笑顔」を心がけていきたいと思います。

### 3 園評価委員アンケートについて

本年度も昨年度に引き続き、大変高い評価をいただき恐縮しております。今後一層精進し、さらに上を目指していきたいと思います。

この後の意見交換では改善すべきことについてのご指摘もぜひいただければと存じます。